

コバネイナゴが多い水田では速やかに防除を行いましょう！

- ・巡回調査(6/30～7/3)の結果、水田におけるコバネイナゴの発生地点率は75.5%で平常(41.1%)より高く(図1)、すくい取り虫数の平均は11頭で平常(3.2頭)より多く、一部の水田では80頭以上確認されました(図2)。
- ・定点調査(古川農業試験場, 本田)の結果、幼虫は3齢を主体に2～4齢が確認されており平常よりやや早い状況です(7月第1半旬現在)。齢が進んでからの薬剤散布では防除効果が低下するので、コバネイナゴが多くみられる水田では速やかに防除を行ってください。

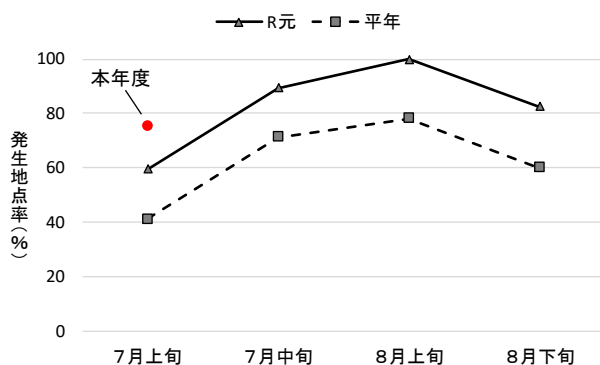


図1 発生地点率の推移

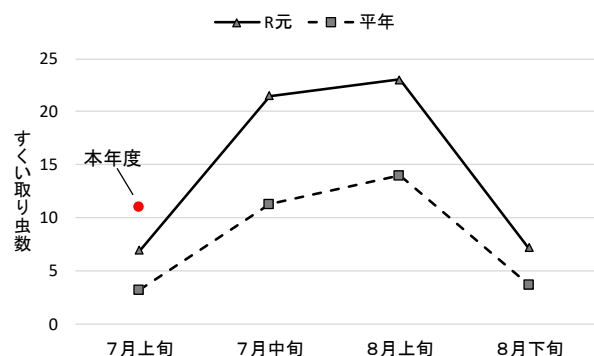


図2 すくい取り虫数の推移

(本田 20 回振りすくい取り調査の平均, 巡回調査: 6/30～7/3)

防除のポイント

- ・3齢(1.5cm程度)までに表1の薬剤を参考にして本田侵入盛期(7月6日～10日)を目安に防除を行ってください。

○参考: 山形県と秋田県では要防除水準を100頭以上としています(7月の20回振りすくい取り調査)。

表1 イナゴ類の主な登録薬剤(令和2年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針より抜粋)

薬剤名	使用時期	使用回数	希釈倍数・使用量	IRACコード
キラップフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍	2B
キラップ粉剤DL			3～4kg/10a	
キラップジョーカーフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	1,000倍	2B/3A
キラップジョーカー粉剤DL			3～4kg/10a	
MR. ジョーカーEW	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍	3A
MR. ジョーカー粉剤DL	収穫7日前まで		4kg/10a	
トレボン乳剤	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍	3A
トレボン粉剤DL	収穫7日前まで		4kg/10a	
なげこみトレボン	5葉期以降(但し 収穫21日前まで)		水溶性容器6個/10a	
アルバリン粉剤DL スタークル粉剤DL	収穫7日前まで	3回以内	3kg/10a	4A
ダントツフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	5,000倍	4A
ダントツ粉剤DL			4kg/10a	

※令和2年7月1日現在の登録内容

※IRACコードは、殺虫剤の作用機構分類を表す

－農薬の適正使用について－

- 1 ラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認する。特に、水田用除草剤や水田で粒剤を使用する場合は、止水に関する注意事項を確認する。
- 2 ラベルの注意事項にある「注意喚起マーク」の表示に従い、適切な保護具を着用する。
- 3 農薬の使用前後には、防除器具を点検し、十分に洗浄されているか確認する。
- 4 近隣住民等に散布スケジュールを事前に周知し、周辺環境への飛散防止に努める。
- 5 農薬は計画的に購入・使用し、使い切るよう努める。
- 6 散布後には農薬の使用履歴を記帳する。

※薬剤の選定に当たっては、最新の農薬登録情報を確認してください。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターのトップページ：<http://www.famic.go.jp/>

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429 E-mail:byogai@pref.miyagi.lg.jp

農薬危害防止運動実施中！(6/1～8/31)

- ❖ 使用・販売する農薬の農薬登録を確認しましょう
- ❖ 農薬容器のラベルをよく読みましょう
- ❖ 周辺環境や近隣住民に配慮しましょう
- ❖ 土壌くん蒸剤(クロルピクリン剤等)の取扱いに注意しましょう
- ❖ 農薬散布作業中・作業後の事故に注意しましょう
- ❖ 農薬の容器を移し替えたりせず、鍵のかかる場所に保管しましょう